

協定留学体験記

- 留学先 : ウースター大学 (イギリス)
- 留学期間 (実際の現地滞在期間) : 2022 年 9 月 ~ 2023 年 6 月
- 学部・学科 : 人文学部ヨーロッパ文化学科
- 留学時の学年 : 3 年

私はイギリスにあるウースター大学に留学しました。ウースターという街は大都市の郊外に位置し、自然が多くとてもどかな地域です。街の中心地には様々な店が立ち並び、平日でも多くの人で賑わっていました。街を離れれば大きな公園や畑、一面に広がる花畑などを見ることが出来ます。

ウースター大学は、街の中心地から約 20 分程歩いたところにあり、周りは家に囲まれたとても静かな場所です。敷地も広く、サッカーコートが 2 つと体育館が 3 つ、カフェもいくつかあります。留学生も各国から集まっており、特にインドやパキスタンなどの南アジア諸国からの留学生がとても多く、インドのお祭りが大学で開催されたときは、武蔵の大学ほどの大きさのホールが埋め尽くされるほどインド系留学生が集まっていました。

クラブ活動も充実していて、フットボールやバスケットボール、ラグビーなどの人気のスポーツはもちろん、英連邦諸国で人気のクリケット、自然を生かしたパドルスポーツを行うクラブもありました。私は小学校から高校までサッカーをしていた経験があり、フットサルクラブに所属しました。人数は約 15 人で、その内の 8 割は留学生で、主にポルトガル・スペイン・フランスからの生徒でした。ヨーロッパの人たちと一緒にサッカーをして、多くの人にとって英語が第一言語ではない環境の中、スポーツが仲を深めてくれる経験をしました。

大学での授業は、前後期それぞれ 4 コマずつ履修しました。履修した授業は主に、武蔵大学で単位認定が見込まれるものと自分の興味がある授業の 2 つの種類でした。文学、社会学、スポーツ学、教育学、言語学など幅広い授業を履修してより広い知識を得ようと試みました。授業形態は、先生が講義をしてそれを聞き、途中にディスカッションがあるというタイプがほとんどでした。授業内容としては、社会学の授業は資本主義とグローバル化を扱う内容で、中国がどのように成長していったか、イギリスのマンチェスターという都市が金融都市になりつつある現状などを学習しました。言語学の授業では、イギリスの地域別英語アクセントの違いを学び、実際に異なる地域出身のイギリス人に単語や文章を発音してもらい、抑揚や音の違いを分析するというネイティブが目の前で教えてくれる、留学生としては贅沢な経験をしました。

一年間ウースター大学で授業を受けた感想として正直に思ったことは、イギリスの大学の授業形態は日本の大学の授業形態とそれほど変わりが無いということです。武蔵大学の GSC の授業に形態がとても似ていると思いました。ですがウースターに各国から集まる学生の考えは様々で、新しい意見や視点を得られることは現地で授業を受ける大きな利点です。



最後に、私は一年間イギリスへ留学することを選んで満足しています。得たことは沢山あり、英語学習としてはもちろん非常に貴重な体験でした。英語を使わなければ何も伝えることが出来ない状況の中で生活することは、言語習得にとって非常に重要な方法です。当然、留学で言語学習は終わりではないので、これからも学修を継続させることでこの留学をさらに活かせると考えています。異国の地で得た友好関係はかけがえのないものだと思っています。中には一生会うことが無い人もいるかもしれませんが、もしまた次会うことが出来ればそれは本当に嬉しい事だと思います。自分が外国に旅行に行くときに、その国に友人がいれば会いに行くことが出来ますし、その国に行こうという気持ちを持つことも出来ます。日本だけでは難しい、世界各国の人と知り合いになれるという経験は、留学の楽しみの一つです。様々な経験がイギリスで出来て非常に良かったです。この貴重な経験を糧に今後の人生を歩んでいきたいと思っています。